

日本安全教育学会第 26 回岩手大会 オプション巡検（エクスカーション）募集案内

1 オプション・巡検（エクスカーション）

学会大会閉会後のオプション・プログラムとして、東日本大震災被災地の現状を視察するツアーを実施します。学会大会終了後に、岩手大学のある盛岡市から釜石市へと移動して、釜石市と大槌町の被災地域と被災時の学校の取り組み、そして復興の現状などを視察し、花巻空港や盛岡駅へと戻ってくる、内容の濃い 2 6 時間ツアーです。

被災地のまちの様子や学校の復興状況を視察するにとどまらず、被災時の対応やその後の復興の取り組みに関わってきた当事者を、視察ガイド講師陣に含めた、内容の濃いツアーです。学会大会で討議する防災教育や復興教育の講演やシンポジウムと連動する内容ですので、どうぞご参加ください。なお、このツアーの実施には定員があり、20 名程度とします。また、最少催行人数を 15 名とします。

2 巡検の内容及びスケジュール

14 日午後 4 時 15 分くらいに岩手大学を出発、高速・釜石道を経由して釜石のホテル着、到着後に周囲の散策（暗くなっていて不適であれば、翌朝の早朝散歩とする：担当は特別参加の加藤孔子先生）。周囲を散策後に会席での夕食です。釜石の料亭「幸楼」（明治期からの老舗の料亭で、釜石の歴史とともに歩んだ店です。東日本大震災では被災を免れ、被災者を受け入れました。）で、発災後に避難者支援をしたことなど、会の合間に女将からお話いただきつつ懇談します。

15 日（自由参加で早朝散歩）午前 8 時半出発、午前中は①大槌町赤浜小（もしくは大槌北小、あるいは大槌小）の児童がいかに避難したか、特別ゲストを招いて現場を辿ります。②民間の伝承施設である大槌町伝承の館（麦倉哲が共同館長）を視察し、道すがら大槌町鎮魂の森（今夏完成予定）を視察し、③昼食（お弁当）は大槌町文化交流センター会議室（予定）。午後には、④釜石・東中・鶴住居小の児童・生徒がいかに避難したか（森本先生解説、麦倉コメント）、⑤いのちをつなぐ未来館館長・祈りのパーク（ガイドの川崎杏樹さん（当時は東中 2 年生）、名誉館長加藤孔子先生が解説）

帰りは、釜石市出発後に花巻空港（午後 4 時半～5 時、6 時発の伊丹便に間に合わせる）、盛岡駅経由・岩手大学着（盛岡駅午後 6 時、岩手大学午後 6 時 15 分着）で終了

3 参加費等

参加費：2 万 5 千円（バス代、宿泊費（ホテル朝食つき、夜食ラーメンもあり）、夕食会席費、翌昼弁当費、参観費、ガイド講師費用等を含む）

申し込み期日：6 月 14 日（なお、定員 20 名を超えた時点で申し込みを終了します）

4 事務局

日本安全教育学会第 26 回岩手大会実行委員会事務局

住所 〒020-8550 岩手県盛岡市上田 3-18-33 岩手大学教育学部

菊地 洋 研究室 電話番号 019-621-6518、F A X 019-621-6518

担当者： 菊地 洋 ， 携帯 090-9430-5341， メールアドレス： jase26iwate@iwate-u.ac.jp